

□ は健康のもと Vol.96

お薬手帳と歯の治療 薬の飲み過ぎ防止等に効果

お薬手帳をご存じですか？ 病院を受診し薬を処方されたときに薬の名前、効能や副作用が記載された手帳で、調剤薬局などで貰えるものです。このお薬手帳と歯の治療は、何か関係があるの？と思われるかもしれませんが、実は密接な関係があります。それは内服している薬の種類、また複数の病院から薬が処方されている場合も一冊の手帳にまとめられているため、歯科医がそれを確認することで、歯科で処方する薬との相性がどうなのか、観血的な処置（抜歯など）が可能なのかどうかを知ることができるためです。例えば、関節痛で痛み止め（解熱鎮痛薬）を飲んでいる方が、歯痛で痛み止めを飲むと、過量投与（飲み過ぎ）になる可能性がありますし、血をサラサラにするお薬を飲んでいる方が、抜歯などによって止血が困難なことを予想することができます。また薬によっては全身の疾患をある程度評価することもできます。お薬手帳を持参し歯科医院や歯科大学を受診することによって、処方されている薬の内容が分かるため、治療がその日にできるかどうかの判断の1つにもなりますし、治療も円滑に進みますので是非、提示することをお勧めいたします。



奥羽大学歯学部附属病院

歯科麻酔科 助教 伊藤 寛

